

## 今週（3月30日から4月3日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズは強く、出合いの水準は0.727～0.728%が中心となった。今週は年度末を跨いだことから、加重平均レートは30日が0.726%、31日が0.727%、1日が0.728%、2日が0.727%となり、若干上下した。3日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、期初スタート物の月内物となるショートターム物が中心となった。今月の日銀金融政策決定会合における利上げの思惑から、4月末を跨ぐ、特に3M以上のオファービッドが乖離しており、出合いはやや少なめとなった。

日銀当座預金残高は、週初30日は年度末諸払いにより459兆円に上昇、1日は2年債発行により457兆円に減少、2日は交付税を主因に459兆円へ上昇、3日は10年債発行により457兆円程度で着地する見込み。

### ●債券レポ市場

今週のO/N GCは、0.735～0.76%のレンジでの取引となった。

3月末越えの取引となった月曜日のGC T/N物は、ややレートを下げて0.735%で寄り付いたものの、後場にかけてレートが上昇し、引け近辺では0.76%の出合いも見られた。火曜日から金曜日にかけては0.755～0.76%の狭いレンジでの推移となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。

3日に実施された3M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは底堅く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、鉄鋼、石油等の業態で大型発行が見られた。

市場残高は、3月末に発行体の有利子負債削減の影響により20兆4,853億円（前月比▲6兆854億円・前年同月比+4,891億円）まで減少した。しかし、1日(水)以降は期明けによる調達再開を受け、再び増加傾向となっており、足元では21兆円台前半まで回復している。

発行レートは、引き続き0.75%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/30 (月)	51,885.85	2.355	159.99	0.726	0.746	4,585,700
3/31 (火)	51,063.72	2.355	159.80	0.727	0.751	4,597,800
4/1 (水)	53,739.68	2.300	158.84	0.728	0.752	4,568,700
4/2 (木)	52,463.27	2.390	158.66	0.727	0.754	4,585,400
4/3 (金)	53,123.49	2.380	159.63	0.728	0.754	4,568,400

## 翌週（4月6日から4月10日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/6 (月)					Euro, London祝日(Easter Monday)
4/7 (火)	2月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)		30Y物 4/8発行 6,000億円	交付税借入 4/16借入 9,000億円	2月の米消費者信用残高 2月の米耐久財受注
4/8 (水)	2月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 2月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 3月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				
4/9 (木)	3月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TDB6M 4/10発行 38,000億円	5Y物 4/10発行 25,000億円	13ヶ月-借入 4/20借入 8,234億円	10-12月期の米GDP確報値 2月の米個人消費・所得支出(PCE) 2月の米卸売売上高
4/10 (金)	3月の企業物価指数(日銀 8:50)	TDB3M 4/13発行 46,000億円			3月の米消費者物価指数 3月の米財政収支 4月のミシガン大学消費者信頼感指数 2月の米製造業受注

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/6 (月) 日銀予想	900	▲ 5,700	▲ 4,800	国債補完 国債買入	1,300	4,100	5,400	600	TB3M発行▲46,000 償還47,000
4/7 (火) 弊社予想	1,600	0	1,600				0	1,600	
4/8 (水) 弊社予想	1,200	▲ 6,000	▲ 4,800				0	▲ 4,800	30Y発行▲6,000
4/9 (木) 弊社予想	200	1,000	1,200				0	1,200	
4/10 (金) 弊社予想	500	▲ 23,000	▲ 22,500				0	▲ 22,500	TB6M発行▲38,000 償還35,000 5Y発行▲25,000 交付税借入▲13,000 期日13,000

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心とした堅調な調達ニーズが見込まれる。ターム物に関しては、日銀の利上げ観測が高まっている中、月内物が中心となることが見込まれる。債券レポ GC T/N物のレートは、0.74~0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、9日(木)に6M物、10日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では、7日(火)に2月の全世帯家計調査、3月のマネタリーベースと日本銀行の取引、2月の景気動向指数速報、8(水)に2月の毎月勤労統計調査速報、2月の国際収支、3月の景気ウォッチャー調査、9(木)に3月の消費動向調査、10(金)に3月の企業物価指数などが公表予定である。海外では、6(月)にユーロ圏、英国で祝日、7(火)に米消費者信用残高、米耐久財受注、9(木)に米GDP確報値、2月の米個人消費・所得支出、米卸売売上高、10(金)に米消費者物価指数、米財政収支、4月のミシガン大学消費者信頼感指数、米製造業受注などが公表予定である。  
(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。